DAYTONA®

取扱説明書

＊取り付ける前に必ずお読み頂き、内容をよく理解して正しくお使い下さい。
＊この取り扱い説明書は、いつでも取り出して読めるよう大切に保管して下さい。
＊この商品もしくはこの商品を取り付けた車輌を第三者に譲渡する場合は、必ずこの取り扱い説明書も併せてお渡し下さい。

電気式スピードメーター 180km/h ／ 140km/h

パネル仕様	商品NO.
180km/h：ホワイトパネル	６３８１２
180km/h：ブラックパネル	６３８０８
140km/h：ホワイトパネル	６３８０６
140km/h：ブラックパネル	６３８１０

この度はデイトナ「電気式スピードメーター」をお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。
ご使用前には必ずこの取り扱い説明書をよくお読み下さい。また、取り付け前に必ず商品の内容をお確かめ下さい。
なお、万一お気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店にご相談下さい。

〈特徴〉

・純正スピードメーターが電気式の車両に対応したφ６０サイズミニメーター。
・モード切替式で、多機能なＬＣＤパネルを装着。

〈商品内容〉

NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量	NO	パーツ名	サイズ(mm)	数量
①	電気式スピードメーター本体		１	③	平ワッシャ	Ｍ５	２
②	六角ナット	Ｍ５	２	④	スプリングワッシャ	Ｍ５	２

＜電気式スピードメーター装着の流れ＞

1. **必要部品を揃える（⇒Ｐ２）**・・・・・本製品を装着するにあたって防振メーターステーや変換アダプター(機械式メーター車のみ)が必要となります。
2. **メーター取り付け（⇒Ｐ３）**・・・・・防振メーターステー等を利用して車体に取り付けます。この時、エンジン横には装着しないでください。振動と熱によりメーターが故障します。
3. **配線の接続（⇒Ｐ３）**・・・・・・・・・メーターからの配線は４本となります。（※残り３本はオプションスイッチ併用時のみ使用）必ず純正サービスマニュアルの配線図を一緒に参照し、配線接続を行ってください。
4. **時刻の設定（⇒Ｐ４）**・・・・・・・・・本製品は時計機能が付いていますので有効にご使用ください。
5. **パルスの設定（⇒Ｐ４～７）**・・・・・本製品は装着、接続しただけでは、針は正常に作動しません。車種ごとにそれぞれのパルス値（１ｋｍ走行する間に何回パルス信号が発生されるか）を入力して初めて作動します。設定方法は３通りあります。
6. **ボタン操作方法（⇒Ｐ８）**・・・・・・使用過程での表示切り替え、ＴＲＩＰメーターのリセット方法を記載しています。
7. **トラブルシューティング（⇒Ｐ８）**・・トラブル時の解決方法、チェック項目を記載しています。
8. **良くある質問、問い合わせ（⇒Ｐ８）**・良くある質問、問い合わせを記載しています。

⚠注意

※ご使用の注意（ご使用になる前に、必ずお読み下さい。）

・**組み付け作業には専門知識が必要です。純正サービスマニュアル（配線図）をお持ちの、信頼のおける専門店等にご依頼下さい。**

・**純正スピードメーターが機械式の車両（メータケーブルで作動するメーター）へは、そのままでは取付けできません。**
電気式スピードメーターは、車体側から電気信号を取り込み、それを速度表示している関係上、そのままでは取り付ける事はできません。
機械式のモデルは、別売の変換アダプターが必要です。

・**純正スピードメーターが電気式でもユニット化されているモデルは注意が必要です。**
純正メーターが電気式でメーターユニット化されているモデルは、そのユニット内に配置されている各メーター類（タコメーター、燃料系等）の事も考慮の上、取り付け下さい。純正メーターによる点火などの制御があり、純正メーターが無いと走行できなくなるようなモデルには使用できません。また、モデルによってはメーターユニット内にイモビライザーの回路も組まれている事もありますので、ご注意ください。

・**この商品は、１２Ｖバッテリー車専用です。**
６Ｖバッテリー車や、バッテリーレス仕様車また、交流式１２Ｖ電源の車両には作動しません。
また、１２Ｖバッテリー車でも弱っているバッテリーですと、正常に作動しない恐れがありますので、ご注意下さい。

・**取付後は、正確に速度表示がされているか必ず確認して下さい。**
取り付け及び設定が終わった時点で、必ず試運転を行い、速度が正確に表示されているか必ず確認して下さい。

・**この商品は、完全防水ではありません。**
気象条件や、メーター内外の気温差よりにガラス内面に結露（曇る）場合があります。あらかじめご了承下さい。

・**この商品は、メーター取付ステーが、付属されておりません。**
この商品は、メーター取付ステーは付属されていませんので、防振メーターステー等を別途お買い求め下さい。
本製品は精密電子機器ですのでリジットマウントでメーターを固定すると、振動等の原因で正常に動作しない場合や故障の原因となります。
※指針部のダンパーオイルの関係上、文字盤の向きを水平状態から大きく傾けないで下さい。故障の原因となります。

・**精密電子機器ですので、落としたり、強いショックを与えないで下さい。**
メーターユニットにダメージが加わり正常に動作しない恐れがありますので、取り扱いには充分ご注意下さい。

2013/09/12

•**この商品は、エンジン横に装着しないで下さい。**

本製品は精密電子機器ですので、エンジン横にマウントしますと振動や熱などにより誤作動、故障する可能性があります。
熱や振動による故障は保証の対象外となりますのでご注意下さい。
また、保安基準にて速度計については固定位置を、『運転状態での直接視界範囲内』と指定されております。
エンジン横などがこの基準の範囲外になると思われます。保安基準の範囲内でカスタマイズをお楽しみください。

•**表示誤差について。**

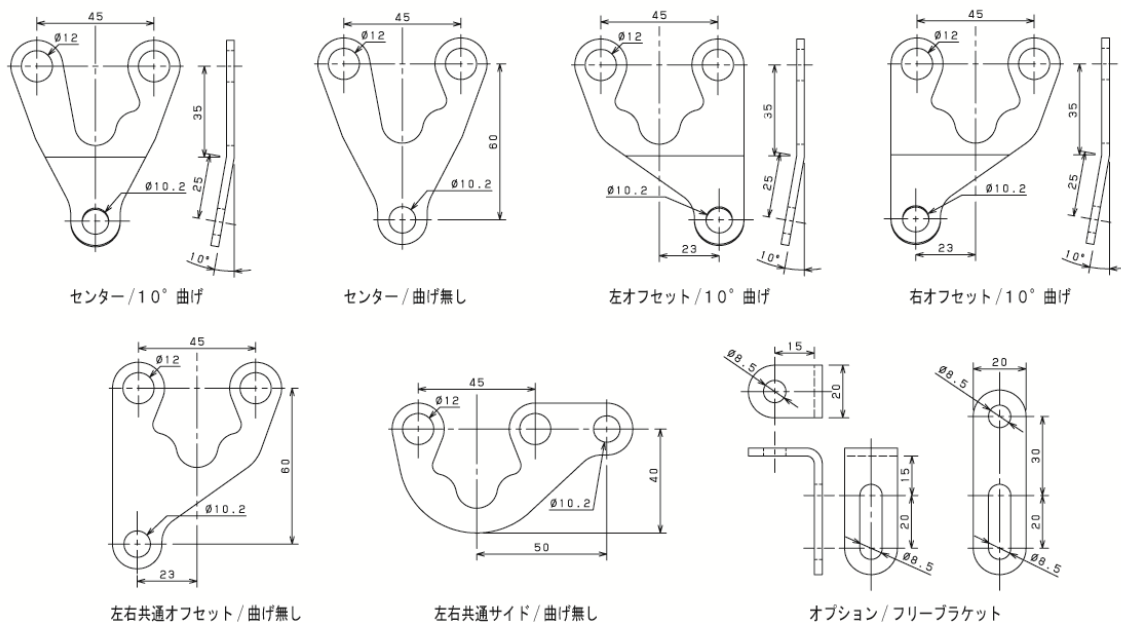
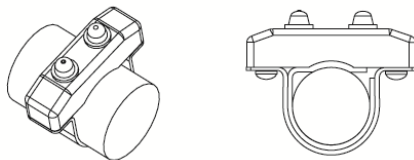
保安基準にて、平成１９年１月１日以降に製作された２輪車および原動機付自転車については、速度計の表示速度が実際の速度よりマイナスしてはいけないことになっております。この商品は、正確にパルス設定がなされいていればこの新基準に適合します。
（平成１８年１２月３１日以前に製作された車両についても適合しております。）

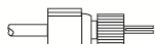
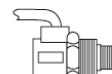
•**分解しないで下さい。**

この商品は非分解式ですので、決して分解は行わないで下さい。メーターユニットとボディは底部のネジ（２ヵ所）で固定されております。
このネジをむやみに取り外したり、締め込んだりすると、メーターユニットがボディ内部で不安定になり、誤動作や故障の原因になります。

•作業に入る前に必ず安全を確保した上で作業を行って下さい。
•取り付けは確実に行って下さい。また、走行中ネジ部等が緩まないように確実に締め付けて下さい。
•取り付け後、約１００ｋｍ走行しましたら、各部のネジ部の増し締めを行ってください。その後は約５００ｋｍ毎必ず点検し、同様の増し締めを行って下さい。
•走行中に異常が発生した場合は、直ちに車両を安全な場所に停車させ、異常箇所の点検を行って下さい。
•この商品は、予告もなしに仕様や価格の変更をする場合があります。また、文中にご紹介した商品についても同様です。予めご了承下さい。

◆◆◆　電気式スピードメーター装着　◆◆◆

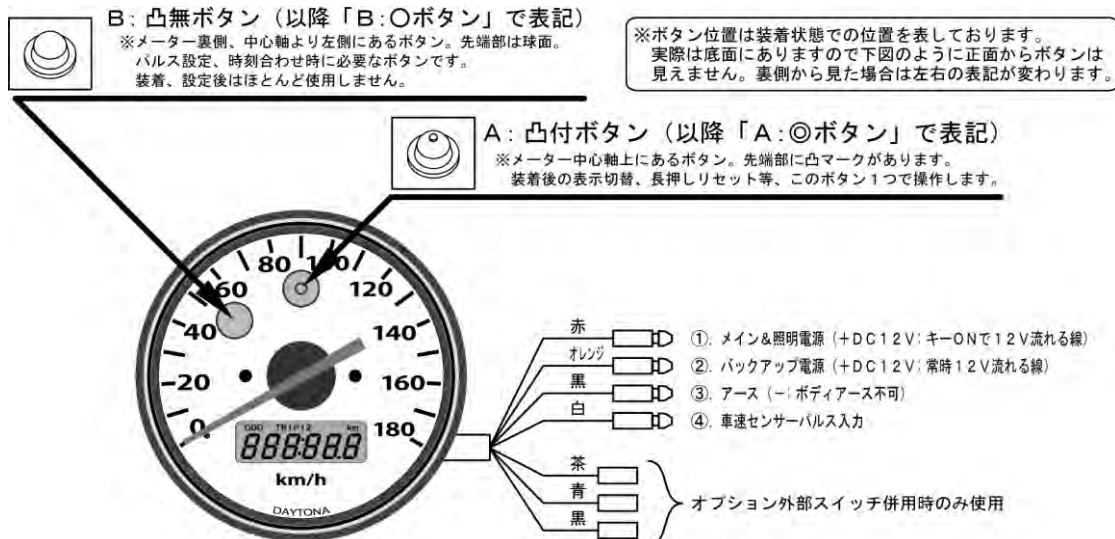
１.必要部品を揃える

■防振メーターステー

センター／１０°曲げ	61197	¥1,750（税抜）
センター／曲げ無し	63526	¥1,750（税抜）
左オフセット／１０°曲げ	63527	¥1,750（税抜）
右オフセット／１０°曲げ	63528	¥1,750（税抜）
左右共通オフセット／曲げ無し	63529	¥1,750（税抜）
左右共通サイド／曲げ無し	63530	¥1,750（税抜）
オプション／フリーブラケット	63531	¥1,250（税抜）

■デンスピ用変換アダプター

A1 type	61118	¥3,800（税抜）
B1 type	61120	¥3,800（税抜）
G2 type	61122	¥3,800（税抜）
A2 type	61124	¥3,800（税抜）
J1 type	61126	¥3,800（税抜）
H type	61130	¥3,800（税抜）
X1 type	61128	¥5,600（税抜）

２．メーター取り付け

前ページの防振メーターステーを流用して、車両に電気式スピードメーターを取り付けます。
本製品は精密電子機器ですので、取り付け位置は出来るだけ振動の影響が少ない場所へ取り付けてください。
純正スピードメーター取り付け位置に近い位置をオススメします。
エンジン横には装着しないでください。エンジンからの直接の振動は防振メーターステーでは吸収しきれません。
また、メーター内部には多数の電子部品が使用されており、エンジンからの熱で電子部品が壊れてしまいます。
一般的に電子部品の耐熱温度は６０℃～８０℃付近となっております。
また、保安基準にて速度計については固定位置を、『運転状態での直接視界範囲内』と指定されております。
エンジン横などがこの基準の範囲外になると思われます。保安基準の範囲内でカスタマイズをお楽しみください。

３．配線の接続

車両に接続する配線は①～④のオスギボシの４本になります。
メスギボシの３本はオプション外部スイッチ併用時のみ使用します。
接続の際は、装着する車両の純正サービスマニュアルの配線図を必ず一緒に参照しながら作業を行ってください。
当社には販売されている全車両の純正サービスマニュアルは揃っておりません。サービスマニュアルが無い車両については、お問い合わせいただいてもお答えしかねる場合がありますので、予めご了承ください。

・ **①．メイン＆照明電源・・・・・・・・・・〈赤〉**

針を作動させるメイン電源と照明の＋線になります。キーＯＮで１２Ｖ流れる線へ接続します。

・ **②．バックアップ電源・・・・・・・・・〈オレンジ〉**

時計のバックアップ電源の＋線になります。キーＯＮ/ＯＦＦ関係無く、常時１２Ｖ流れる線へ接続します。

バッテリーの電源（＋）からきている線で、ヒューズを介した線へ接続します。

・ **③．アース・・・・・・・・・・〈黒〉**

車体側のアース線（－）へ接続します。

※ボディアースは接触不良や、電圧が不安定になるため不可です。

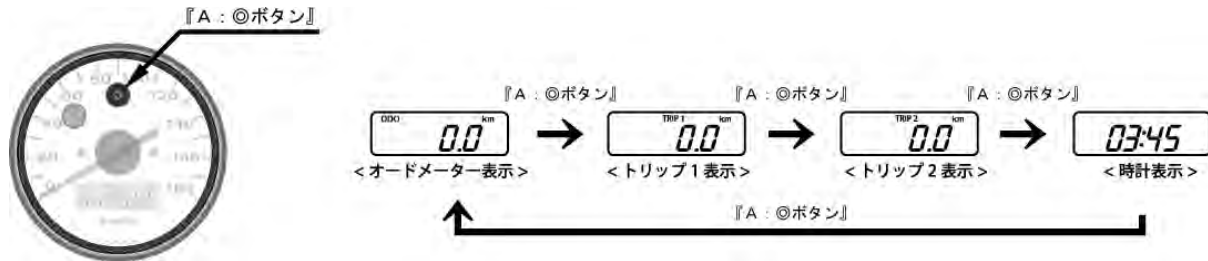
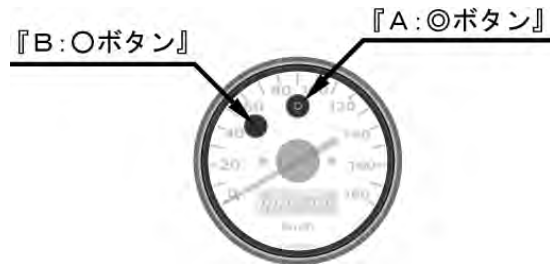
・ **④．車速センサーパルス線・・・・・・・・・〈白〉**

車体側の車速センサーパルスを取り込むための入力線です。車速センサーからのパルス線へ接続します。

■ご注意！

純正スピードメーターを取り外すことにより、純正スピードセンサーへの電源が絶たれてしまう車種もあります。センサーへ電気が供給されていませんと、パルスが発生しないため、上記４本の線を接続しても電気式スピードメーターは作動しません。その場合は、スピードセンサーの電源を確保してください。
※車種により異なりますが、センサーの＋線を上記配線①と同じ線、－線を上記配線③と同じ線へ車体同士で接続します。

４. 時刻の設定

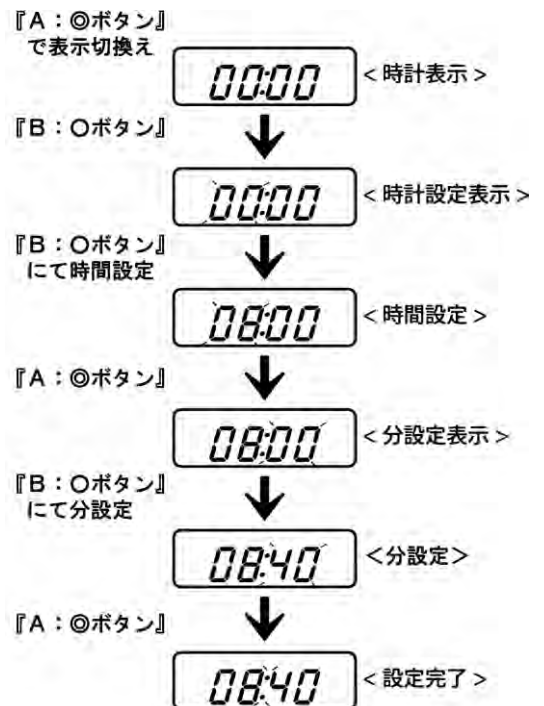
・各モード表示切り替え・・・『Ａ：◎ボタン』を押す事で各モードに表示が切り替わります。

・時計の設定方法（２４Ｈ表示）

①『Ａ：◎ボタン』を押して<時計>の表示に変更します。

②『Ｂ：○ボタン』を押して、時間の設定ができるようにします。

③『Ｂ：○ボタン』を押して、時間を設定します。（１押し、１時間送り）

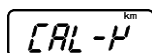
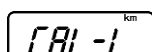
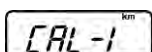
④『Ａ：◎ボタン』を押して、分の設定ができるようにします。

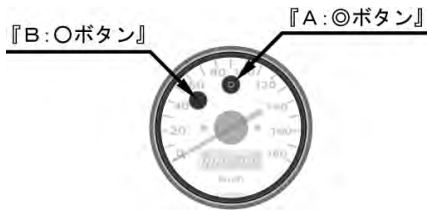
⑤『Ｂ：○ボタン』を押して、分を設定します。（１押し、１分送り）

⑥最後に『Ａ：◎ボタン』を押して、時間設定は完了です。

５. パルス設定方法（設定範囲「０１１００～９９９９９」、出荷時の設定は「０１４００」）

配線の装着が済みましたら、車種それぞれのパルス値（１ｋｍ走行する間に何回パルス信号が発生されるか）をメーター本体側で
あらかじめ設定しなければなりません。パルス値は、車両ごとにさまざまです。設定方法は３通りありますので、
いずれかの方法で確実に設定してください。（※③が最も一般的で様々な車種に対応できます。）

◆　◆　◆　パルス設定の種類　◆　◆　◆

①. マニュアルモード（⇒Ｐ５）・・・・<u>別紙サービスデータに載っている参考パルス値を直接入力する方法。</u>
（※サービスデータに掲載されている当社確認済みの代表車種のみ。
同一モデルでも年式が異なったり、タイヤサイズを変更していると適応しません。）

②. オートモード（⇒Ｐ５）・・・・・・<u>１ｋｍを実走行し、パルスの発生数を自動的に読み込ませる方法。</u>
（※正確な１ｋｍの距離が必要です。公道での設定はおやめください
速度計無しでの走行は道路交通法違反となります。）

③. 計算による方法（⇒Ｐ６，７）・・・<u>「タイヤ外周寸法」と「タイヤを１０周回した時のパルス値」から算出する方法</u>

車速センサーが付いている側のタイヤ外周をメジャー等で測ります。オートモードにし、タイヤを「１０周」確実に回します。１０周回した時点の「パルス値」と「タイヤ外周寸法」から１ｋｍ走行時のパルス値に換算します。算出したパルス値をマニュアルモードで入力。
（<u>※計算が面倒な方には当社ＨＰ内にて計算フォームを公開しております。「タイヤ外周寸法」と「１０周パルス値」を入力するだけで自動計算します。その数値をマニュアルモードで入力してください。</u>『 http://daytona-mc.jp/sp/pulse_setup/ 』）

・『①. マニュアルモード』の設定方法

①. 『Ａ：◎ボタン』+『Ｂ：○ボタン』を同時に押して
『ＣＡＬ−Ｙ』表示にし「マニュアルモード」に入ります。

②. 『Ｂ：○ボタン』を押して数値設定の表示にします。

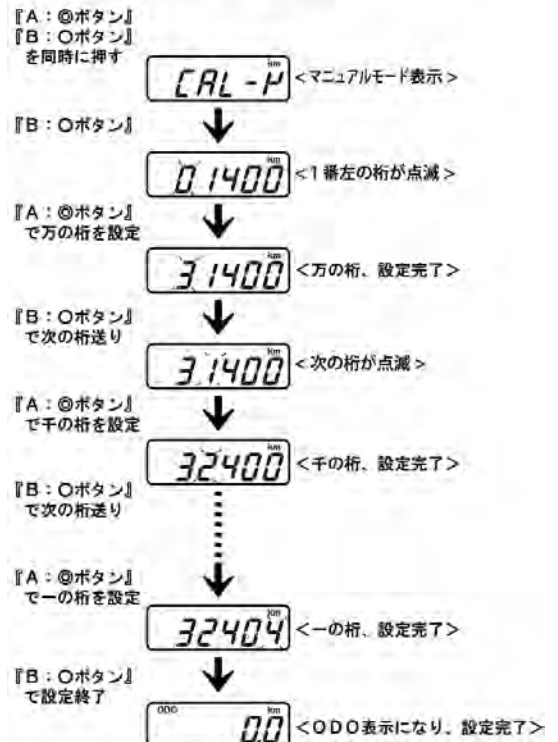
③. １番左の桁が点滅しますので、『Ａ：◎ボタン』にて
万の桁を設定します。（1押し１パルス送り）

④. 『Ｂ：○ボタン』を押して、次の桁に移動します。

⑤. 次の桁が点滅しますので、手順③と同様に
『Ａ：◎ボタン』にて千の桁を設定します。

⑥. 同様な方法で、１番右の一の桁まで設定します。

⑦. 一の桁まで設定が終わったら、
『Ｂ：○ボタン』を押します。

⑧. オドメーター表示になり、設定は完了です。

パルスの設定範囲は『０１１００～９９９９９』までとなっております。パルス値を１１００未満で設定しようとすると
『Ｅｒｒｏｒ』と表示され設定できません。１１００以上のパルス値を入力してください。

・『②. オートモード』の設定方法

このモードの設定方法は、実走して設定入力するモードです。「距離＝１ｋｍ」は距離が正確なほど、精度の高いパルス値が設定できます。
公道での設定はお控え下さい。速度計なしでの走行は道路交通法違反となります。

①. 『Ａ：◎ボタン』+『Ｂ：○ボタン』を同時に押して
『ＣＡＬ−Ｙ』に表示を変えます。

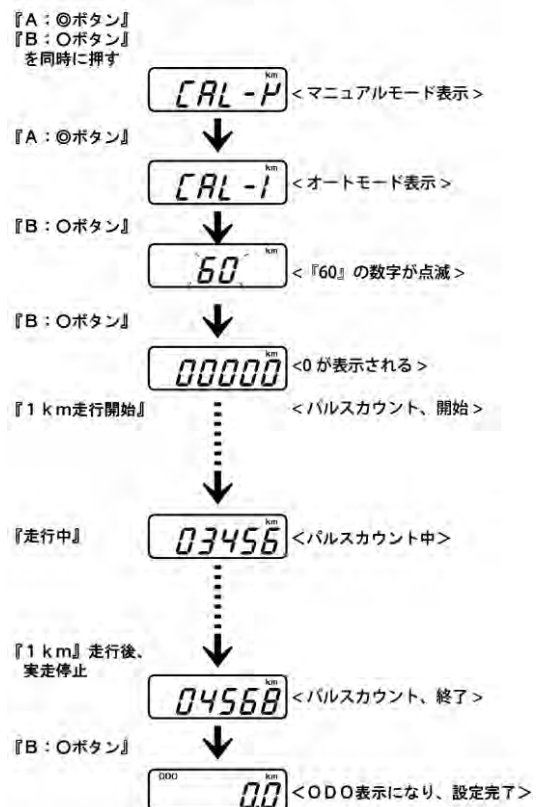
②. 次に『Ａ：◎ボタン』のみを押して『ＣＡＬ−Ｉ』
に表示を換え「オートモード」に入ります。

③. 『Ｂ：○ボタン』を押し、『６０』の表示に
切り替えます。

④. 更に『Ｂ：○ボタン』を押し、『０００００』の
カウンターモードに切り替えます。

⑤. 距離１Ｋｍを実走行して、パルスをカウントさせます。

⑥. １Ｋｍ走行したら、停止します。

⑦. 『Ｂ：○ボタン』を押し、オドメーター表示となり、
設定は完了です。

・パルスの設定範囲は『０１１００～９９９９９』までとなっております。この範囲外で設定すると「Ｅｒｒｏｒ」となります。
パルスカウントが１１００未満の状態で『Ｂ：○ボタン』で終了しようとすると『Ｅｒｒｏｒ』と表示され設定できません。
・『Ｅｒｒｏｒ』表示が出てしまった場合は、再度パルスカウントが１１００以上になるまで走行し、１１００以上になったところで『Ｂ：○ボタン』で終了し、一旦「オートモード」から抜け出してください。その後、再度設定し直して下さい。

・『③. 計算』による設定方法

※距離１ｋｍの正確な測定は現実的ではありませんので通常はこの方法にて設定してください。
※作業に入る前にメモの用意をしてください。
メモ①②③の数値を控えてください。

＜ 手　順 ＞

①. スタンド、又はジャッキ等で車体が倒れないように注意しながら、車速センサーが付いている側のタイヤを浮かせ、タイヤの外周をメジャー等で測り、数値を控えておきます。
（例えば、スピードメーターギアボックスがフロント側に付いていれば、フロントタイヤを測ります。）

メモ① タイヤ外周寸法＝［　　　　］mm　（※参考例：タイヤ外周寸法＝２０５５mm）

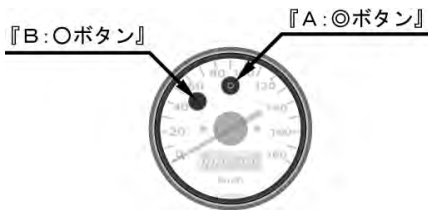
＜タイヤ１０周回したパルス値＞

『A：◎ボタン』

『B：○ボタン』

この状態では『Ｅｒｒｏｒ』となるのでカウントが１１００以上になるまでタイヤを回す

１１００以上、回転終了
01159
＜パルスカウント、終了＞
※このパルス値はオートモードを抜けるための仮の数値であり特に意味を持ちません。

『B：○ボタン』
ODO 0.0
＜ＯＤＯ表示になり、仮設定完了＞

②. 次に、パルス値を読み取ります。

2-1. イグニッションスイッチをＯＮにして、メーターの電源を入れます。

2-2. 『オートモード』の設定方法（⇒Ｐ６）を参照し、『オートモード』の設定方法の手順④「０００００」表示まで進めます。

2-3. ガムテープ等でタイヤに目印をつけて、浮かせたタイヤを『１０周』確実に回します。
（※回転速度は、速く回した方が、若干ではありますが、精度が高まります。また、数回測定し平均値を出したほうがより安心です。）

2-4. １０周させた時点でタイヤを止め、メーターに表示されているパルス値を控えます。

メモ② １０周パルス値＝［　　　　］

（※参考例：１０周パルス値＝１７２）

2-5. １０周回した状態ではカウント数が１１００以下になる場合がほとんどです。このままの状態でボタン操作をしても『Ｅｒｒｏｒ』表示になってしまいますので、カウントが１１００以上になるまでタイヤを回し続け、１１００以上になったところで『Ｂ：○ボタン』にて終了し、一旦オートモードから抜け出します。
（※この時のパルス値はオートモードを抜けるための仮の数値ですので特に意味を持ちません。）

③. メモ①、メモ②で控えた数値を元に、１ｋｍ走行時のパルス数に換算します。＜次ページの計算式へ＞
（※参考例：タイヤ外周寸法＝［２０５５mm］、１０周パルス値＝［１７２］）

次ページに計算式が記載してありますが、計算が面倒な方には当社ＨＰ内にて計算フォームを公開しております。
「タイヤ外周寸法」と「１０周パルス値」を入力するだけで自動計算します。

http://daytona-mc.jp/sp/pulse_setup/

←携帯電話からのアクセスはコチラ
http://daytona-mc.jp/sp/pulse_setup/mobi.php

サイトが見れない方は、申し訳ありませんが次ページの計算式にて計算してください。

・**下記の計算式で計算します**

例：タイヤ外周寸法＝**２０５５mm**、１０周パルス値＝**１７２**

●メモ①タイヤ外周寸法の単位をmmからｋｍに変更します。

周長Ｌ（ｋｍ）＝　測ったタイヤの外周（mm）／１０^6

例：周長Ｌ（ｋｍ）＝**２０５５**／１０^6
＝２０５５／１０００００００
＝０．００２０５５（ｋｍ）

●パルス値の算出。

入力パルス値　＝１／　周長Ｌ（ｋｍ）×（１０周パルス値／１０）（※最後の数値は小数点以下は四捨五入）

例：入力パルス値＝１／０．００２０５５（ｋｍ）×（**１７２**／１０）
＝４８６．６１８×１７．２
＝８３６９．８２９６　（　←　小数点以下は四捨五入　）
入力パルス値＝８３７０　となります。　**メモ③**
★この『**８３７０**』がメーターに入力するパルス値となります。

④. イグニッションスイッチをＯＮにして、メーターの電源を入れます。
計算で算出されたパルス値（メモ③）をマニュアルモードの手順（⇒Ｐ５）で入力し、設定は完了です。

⑤. 設定が完了しましたら、最終的に走行等をして表示される速度が正しいか確認してください。
速度にズレがある場合はマニュアルモードでパルス値の調整を行い、速度表示の確認をしてください。
（※１回の測定＆計算よりも、数回測定＆計算し、平均値を出したほうが精度は高まります。）

要点！

・計算にて算出したパルス値は、多少の誤差は生じます。
　最終的に走行等をして、表示速度が正確か確認してください。
・パルス値について
●表示速度を上げたい場合　⇒　パルス値を下げる
●表示速度を下げたい場合　⇒　パルス値を上げる
※この際、百の桁のパルス値を調整した方が、変化量は大きくなります。十の桁、一の桁の調整は変化量が少ないです。

６.ボタン操作方法

◆装着後、設定後の操作は『Ａ:◎ボタン』のみとなります。『Ｂ：〇ボタン』は使用しません。

・**各モード表示切り替え**・・・・・『Ａ：◎ボタン』を押す事で各モードに表示が切り替わります。

・**トリップメーターのリセット**・・「ＴＲＩＰ１、２」の表示状態で『Ａ：◎ボタンを２秒長押し』すれば表示が「０．０ｋｍ」にリセットします。
（※当然ですがＯＤＯメーターはリセット出来ません。）

７.トラブルシューティング（こんな症状の時は・・・）

● 電源は入るがパルスをカウントしない。針が動作しない。針が振れ安定しない。

・誤配線や接触の不良が考えられます。	・各配線が正しく結線されているか、再度確認して下さい。 ※車種によっては**スピードセンサーの電源確保**のための配線が必要です。スピードセンサーに電気が流れていませんとパルスは発生しません。 ・各ギボシやカプラーが、確実に結線されているか、再度確認して下さい。
・パルスの設定値不良が考えられます。 （パルスの設定値の、不一致）	・パルスの設定値が大きくズレている可能性があるますので、 再度パルス値を設定し直してみて下さい。
・電源電圧の不安定	・電圧が安定しているが、テスターで測定して下さい。
・センサーの不具合	・センサーの電源を確保した状態でセンサー側のタイヤを回しパルス線に信号が来ているか確認してください。（０Ｖ－５Ｖの繰り返し信号のみ適合します） （※０Ｖ、５Ｖ、１２Ｖの信号等には使用できません。）

● メーターガラスの内側が曇ってしまう。

・構造上完全防水ではありません。	・メーターケース内外の温度差が生じた場合に発生してしまいます。特に雨天の次の日や季節の変わり目に曇りやすくなります。メーターの曇りはクレーム対象外となっておりますので、予めご了承ください。

● 針が振り切ってしまった。『０』の位置まで針が戻らない。

・針が１２時を超えた位置で電源が遮断されたか、何らかの原因で、針が暴走したと考えられます。	・設定したパルス値を控え、一旦マニュアルモードにて「01100」に設定し、走行してみてください。振り切った針が反応し０位置に戻ります。 ・オレンジ線を一度取り外し、３０分以上経った後、再度接続して下さい。初期作動モードにてリセットされます。

● 針がスムーズに動かない。

・振動による問題の可能性があります。	・防振タイプのステーをご使用ください。また、固定位置によっても振動の周波数は変わりますので、振動の影響の少ない位置に取り付けてください。

８.良くある質問、お問い合わせ

Ｑ．車体から取り外した場合、各機能はリセットされてしまうの？	Ａ．時計は３０分以上の放置で０：００にリセットされます。 ＯＤＯ、ＴＲＩＰ１，ＴＲＩＰ２は内部ＩＣにて記憶保持しております。 入力したパルス設定値は内部ＩＣにて記憶保持しております。
Ｑ．ＯＤＯメーターを現在の走行距離に合わせてから使用したい	Ａ．**ほぼ不可能です。**厳密に言えば走行状態と同じパルス信号を与え、時間を掛けて走行距離を合わせれば可能ですが、当社や販売店でも対応出来ません。 ０ｋｍからのご使用でお願いします。
Ｑ．メーター照明（ＬＥＤ）の色を変えたい	Ａ．**色の変更は出来ません。**メーター自体が非分解式となっておりＬＥＤも基板に埋め込むタイプを使用してますので、付け替え自体が不可能です。
Ｑ．修理をお願いしたい	Ａ．**残念ながらデンスピは非分解式構造のため、修理は出来ません。**購入後１年未満でしたら商品保証の対象となりますが、１年以上経っている場合は保証対象外となりますので、予めご了承ください。

東証JASDAQ上場
株式会社 デイトナ 〒437-0226 静岡県周智郡森町一宮 4805
URL http://www.daytona.co.jp

◎デイトナ商品についてのご質問、ご意見は、「フリーダイヤルお客様相談窓口」０１２０－６０－４９５５までお願い致します.

サービスデータ

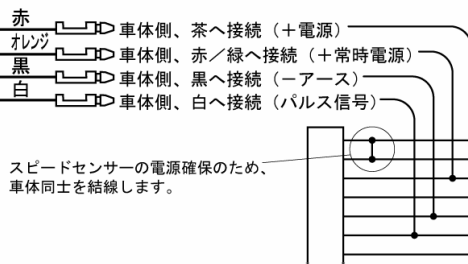
*このデータはテストやサービスマニュアルの配線図を元に、配線データ、パルスデータを記載しております。
*車体側との結線は、エレクトロタップ（結線用コネクター）等を使用して、確実に接続してください。
　また使用しないハーネスやカプラーはしっかりと絶縁処理してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輌を第三者に譲渡する場合は、必ずこのサービスデータも併せてお渡し下さい。

*このデータはテストやサービスマニュアルの配線図を元に、配線データ、パルスデータを記載しております。
*車体側との結線は、エレクトロタップ（結線用コネクター）等を使用して、確実に接続してください。
　また使用しないハーネスやカプラーはしっかりと絶縁処理してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輌を第三者に譲渡する場合は、必ずこのサービスデータも併せてお渡し下さい。

YAMAHA DS/DSC/400/1100（00～）への装着

赤　車体側、茶へ接続（＋電源）
オレンジ　車体側、赤／緑へ接続（＋常時電源）
黒　車体側、黒へ接続（－アース）
白　車体側、白へ接続（パルス信号）

スピードセンサーの電源確保のため、
車体同士を結線します。

青／黄（スピードセンサー＋電源）
茶（アクセサリー電源）
赤／緑（常時電源）
青（メーター照明）
黒（－アース）
白（車速パルス）

計算による算出方法の場合は
リヤホイールの外周寸法と、
リヤホイールを１０周回した
パルスデータから算出します

※参考パルスデータ
ＤＳ４００（００－０６）　＝　３３９１４±２００
ＤＳＣ４００（０１－０６）　＝　３４２９７±２００
ＤＳ１１００（００－０３）　＝　３４８１６±２００
ＤＳＣ１１００（００－０２）＝　３４４７２±２００
ＤＳＣ１１００（０３－０４）＝　３４４６４±２００
※参考値ですので計算による方法で算出し、確認してください。

●純正メーターを取り外すことにより、スピードセンサーへの＋電源が絶たれますので、上図を参考に接続してください。
●モデルによりカプラー形状が異なり、２分割されているモデルもあります。
●純正メーターを外すことにより、インジケーター、フューエルメーターが無くなります。
必要に応じて別途ご用意ください。

※DSC400(`01) カプラー位置
メーター裏側。メーターに繋がっている
２ヶある６Ｐカプラーのうちの
防水カプラー側です。

※DSC1100(`07) カプラー位置
シート下のカバーを外すと現れます。

KAWASAKI　W650/W400 への装着

※参考パルスデータ　＝　４６００±２００（Ｗ６５０）
　　　　　　　　　　＝　５３００±２００（Ｗ４００）
※参考値ですので計算による方法で算出し、確認してください。

●純正メーターを外すことにより、インジケーターが無くなります。
必要に応じて別途ご用意ください。

*このデータはテストやサービスマニュアルの配線図を元に、配線データ、パルスデータを記載しております。
*車体側との結線は、エレクトロタップ（結線用コネクター）等を使用して、確実に接続してください。
　また使用しないハーネスやカプラーはしっかりと絶縁処理してください。
*この商品もしくはこの商品を取り付けた車輌を第三者に譲渡する場合は、必ずこのサービスデータも併せてお渡し下さい。